

知立市歴史民俗資料館

年報

令和2年度

目 次

資料館概要

沿革・施設	1
-------------	---

資料館事業概要

展示活動

常設展示	2
------------	---

企画展示	6
------------	---

教育・普及活動	16
---------------	----

収集・保存活動

寄贈・寄託資料	20
---------------	----

資料整理・調査	22
---------------	----

受領図書	23
------------	----

利用状況	27
------------	----

文化財保護事業概要

文化財事業	28
-------------	----

条例・規則

知立市歴史民俗資料館条例	30
--------------------	----

知立市歴史民俗資料館管理規則	31
----------------------	----

知立市文化芸術基本条例	33
-------------------	----

資料館概要

沿革

知立市歴史民俗資料館は、昭和 53 年に開館した「知立市郷土資料館」を前身としています。

郷土資料館は知立中学校の西北（現広見 2 丁目 1 番地辺）の場所に、刈谷に移転した旧法務局を改造して建てられ、知立の歴史や民俗に関する資料を主に収集・展示していました。

その後、建物の老朽化や狭小さから新資料館建設の要望が高まり、昭和 62 年 10 月 22 日、市立図書館と併設する形で現在の歴史民俗資料館が開館しました。



資料館・図書館外観



資料館展示室入口

施設

南西向き、2 階建てです。中央の正面玄関を入ると、ロビーのある共用スペースを挟んで右が図書館スペース、左が資料館スペースとなっています。資料館側の 2 階には、平成 20 年度から始まっている新編知立市史編さん事務局である文化課市史編さん係があります。また建物南側には緑豊かな新地公園が広がり、市民の憩いの場となっています。

敷地面積 4,950 m² 建築面積 658.11 m² 延床面積 1,140.48 m²

1 階展示室 207.45 m² 1 階収蔵庫 88.46 m²

2 階展示室 172.95 m² 2 階収蔵庫 124.25 m² 特別収蔵庫 21.90 m²

燻蒸室 9.67 m² 整理作業室 58.73 m²

事務室 28.65 m² その他

鉄筋コンクリート造地上 2 階建一部塔屋

所在地 〒472-0053 知立市南新地二丁目 3 番地 3 (TEL 0566-83-1133)

開館時間 午前 9 時～午後 5 時

休館日 毎週月曜日（祝日は開館）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）、館内整理日（毎月第 4 金曜日）、特別整理期間（年 10 日以内）

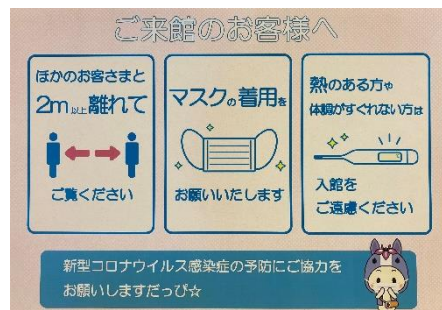
入館料 無料

交通機関 名古屋鉄道本線 知立駅下車 徒歩 10 分

資料館事業概要

令和2年の年頭頃より新型コロナウイルスが猛威をふるいはじめ、感染予防措置のため政府と愛知県の要請で知立市内の全小中学校が同年3月2日から臨時休業となりました。それを受けて知立市は市内の公共施設の休業を決定し、当館も3月10日より休館の措置をとりました。休館は令和2年度5月末日まで続き、小中学校の臨時休業がとけた6月から、当館も再び開館しました。

開館後は右のパネルを設置してソーシャルディスタンスの確保・マスク着用・平熱での入館を呼びかけ、感染の可能性のあるイベントの自粛、消毒の徹底など感染予防措置をとりながら、可能な範囲で活動を再開しました。



展示活動

常設展示

<1階> 知立の歴史的な特色を紹介する3つのコーナーを設けており、年に一度、展示替えを行っています。

【知立神社と知立まつり】

当地の地名「知立」を冠する知立神社とその祭礼「知立まつり」を紹介しています。

知立神社は式内社であり、三河二宮として、またマムシ除けの靈験あらたかな神社として知られた神社です。毎年5月2,3日には同神社のまつり「知立まつり」が開かれます。まつりで隔年に奉納される「山車文楽とからくり」は、平成2年に国の重要無形民俗文化財に指定され、また平成28年には全国33の「山・鉦・屋台行事」の一つとしてユネスコ無形文化遺産に登録されました。

ここでは知立神社・知立まつり・山車文楽とからくりに関わる資料を展示するほか、知立まつり(本祭)の14分間の映像を上映しています。



【池鯉鮒宿】 知立には江戸時代、品川から数えて39番目の東海道の宿場「池鯉鮒宿」がありました。ここでは宿の様子を詳細に示す絵図や、本陣・問屋場などに関わる資料、広重が描いて知られた池鯉鮒の馬市をはじめとする池鯉鮒宿の浮世絵や近世の旅道具などを展示しています。また池鯉鮒宿のジオラマや旅籠を模したコーナーも設置し、当時の様子を再現しています。



【名所八橋】

伊勢物語第九段で詠まれた「からころも きつつなれにし つましあれば はるばるきぬる たびをしぞおもふ」の歌とともに広く知られた名所“八橋”を紹介しています。

伊勢物語の版本や主人公とされる在原業平に関わる資料、八橋について記した中世～近世の紀行文、また近世になって八橋を復興させた八橋方巖売茶翁に関する資料などを展示しています。



なお、特別展・企画展の際は、1階展示室の一部を会場とするため、常設展示はその間、撤収しています。

<2階> 当地の原始・古代・中世の出土資料を展示するほか、近代の農具やくらしの道具、戦時資料などを展示しています。また明治2年に当地で立藩した重原藩の大参事となり、廃藩後は自由民権運動で活躍した内藤魯一に関するコーナーも設置しています。



近代農具のコーナー

主に米作りで使われた道具を作業工程の順に展示しています。

考古資料のコーナー

各遺跡ごとに出土資料を、パネル写真などと共に展示しています。





くらしの道具のコーナー

三種の神器も含め、炊事の道具や食事の道具、風呂桶や洗濯の道具、明かりの道具など、近代のくらしに欠かせなかった道具を展示しています。



戦時資料のコーナー

第二次世界大戦の際に使われた日章旗など、市民から寄せられた資料を展示しています。

内藤魯一のコーナー

当地の偉人、猿渡公民館敷地内に銅像の建つ内藤魯一をパネルと関係資料を展示し、紹介しています。



季節展示 <五月人形>

4月初～5月末、1階展示室の主に旅籠コーナーで、五月節句飾りを展示しています。大正から昭和時代の五月人形や兜、土人形、こいのぼりなどです。

しかし本年度は新型コロナウイルス感染症防止のため4、5月は完全休館となったため、展示はしたものの、来館者にご覧いただくことはできませんでした。



企画展示

時を切り取る 近代の絵はがき

7月18日～9月6日

□ 展示趣旨

ちょうど120年前、明治33年（1900）に私製葉書が認可されると、日露戦争を契機に様々な絵はがきが流行しました。開国の情緒あふれる明治時代の絵はがき、ロマン香る大正時代の絵はがきなど華やかに彩られた絵はがきがある一方で、第一次世界大戦や関東大震災など戦争や災害の最前線を記録した絵はがきは、その現状を目で見て知る即効性のあるメディアとして重要な役割を果たしました。

この展示を通して、絵はがきの魅力と果たしてきた役割について、そして近代の文化や風俗などにも目を向けていただくことを企図しました。



□ 会場 1階展示室

□ 入場料 無料

□ 印刷物 チラシ 5,000枚、ポスター 300枚
展示パンフレット（A4カラー・24頁）1,500部

□ 期間中の入館者数（会期日数） 2,106人（43日間）



□ 展示資料リスト

資料名	枚数	所蔵者
明治期 近代郵便制度の確立		
万国郵便連合加盟二十五周年記念絵葉書	6	個人蔵
通信事業創始五十年記念	2	個人蔵
明治期 はがきの誕生と絵はがきブームの到来		
二つ折りはがき(市内用半銭)	1	個人蔵
二つ折りはがき(市内用半銭)裏パネル	1	個人蔵
二つ折りはがき(市外用一銭)	1	個人蔵
二つ折りはがき(市外用一銭)裏パネル	1	個人蔵
カナ入り小型はがき	1	個人蔵
一銭はがき	1	個人蔵
戦役記念絵葉書第一回発行	6	個人蔵
戦役葉書販売風景	1	個人蔵
明治期 三越の絵はがき		
三越呉服店絵はがき(画:和田英作)	6	個人蔵
満州軍総司令部凱旋記念	1	個人蔵
明治期 都市風景と美人絵はがき—手彩色絵はがき—		
人力車と美人	2	個人蔵
横浜公園の桜花	4	個人蔵
神戸港	1	個人蔵
明治期 美人絵はがき—手彩色絵はがき—		
美人絵はがき(芸者)	10	個人蔵
東京美人	1	個人蔵
明治期 日露戦争期の軍事郵便		
戦役記念(エンタイア)	2	個人蔵
耐久期勝(エンタイア)	1	個人蔵
掃除道具をもって踊る人(エンタイア)	1	個人蔵
戦役記念(エンタイア)	1	個人蔵
うちの女性(エンタイア)	1	個人蔵
明治期 ハガキ文学		
雑誌「ハガキ文学」明治40年発行2冊	2	個人蔵
大正期 交通の発達と旅の近代化		
三河鉄道開通記念(棚尾)	6	個人蔵
安城停車場付近	1	個人蔵
刈谷駅頭	1	個人蔵
新知立駅	1	個人蔵
カバン	1	当館蔵
愛知電気鉄道 沿線案内	1	当館蔵
ポケット旅行案内	1	当館蔵

資料名	枚数	所蔵者
大正トランク		
大正トランク	1	当館蔵
パンフレット 電化の三河鉄道案内	1	当館蔵
パンフレット 三河鉄道名勝図絵	1	当館蔵
パンフレット 花をたづねて三鉄沿線	1	当館蔵
パンフレット 観光の三河鉄道	1	当館蔵
パンフレット沿線御案内	1	当館蔵
松島館ホテルの絵はがき	1	当館蔵
京都見物絵はがき	1	当館蔵
伊東温泉絵はがき	1	当館蔵
大正期 大正天皇の即位		
大正天皇即位 大正天皇の即位	8	個人蔵
国民的祝祭、博覧会の時代		
第十回関西府県総合共進会(能楽堂)	4	個人蔵
日英博覧会	3	個人蔵
東京勸業博覧会(観覧車)	6	個人蔵
東京大正博覧会(全図)	7	個人蔵
平和記念東京博覧会	7	当館蔵
東京近代建築		
白木屋	1	個人蔵
両国国技館	1	個人蔵
(東京名所)東京駅	1	個人蔵
(東京名所)万世橋停車場	1	個人蔵
(東京名所)浅草公園瓢箪池	1	個人蔵
(東京名所)帝国劇場	1	個人蔵
(東京名所)逓信省	1	個人蔵
(東京名所)上野停車場	1	個人蔵
災害と戦争		
関東大震災現状(震災概要)	5	当館蔵
歩兵隊三十四師団名古屋駅	1	個人蔵
青島に上陸する第四師団	1	個人蔵
ヴェルサイユ条約締結(報知新聞)	2	個人蔵
平和記念絵葉書(画:南薫造)	2	個人蔵
昭和の幕開け、都市の復興		
東宮殿下外遊帰京記念(殿下肖像)	2	個人蔵
帝都復興祭(神田停車場)	6	当館蔵
昭和天皇大典記念	1	個人蔵
昭和天皇大典(肖像)	3	個人蔵
この地方の絵はがき		
知立神社全景	7	個人蔵
三河八橋杜若名所無量壽寺 本堂正面	2	個人蔵

資料名	枚数	所蔵者
知立町家畜市場 慈眼寺	1	個人蔵
知立町 家畜市場	1	個人蔵
知立町役場	1	個人蔵
上重原 八剣社	1	個人蔵
御野立玉石跡碑	1	個人蔵
内藤翁銅像	1	個人蔵
三河國三弘法 赤目櫳 全景	4	個人蔵
(安城町)郡農会及明治用水事務所	1	個人蔵
(安城町)安城町立農業会館	1	個人蔵
(安城町)愛知県立蚕業取締所安城支所	1	個人蔵
(安城町)県立農業試験場全景	1	個人蔵
(安城町)県立農林学校全景	1	個人蔵
(安城町)県立高等女学校全景	1	個人蔵
刈谷城址全景	1	個人蔵
卿社 市原神社	1	個人蔵
亀城尋常高等小学校	1	個人蔵
刈谷公会堂	1	個人蔵
刈谷町市街	1	個人蔵
県立第八中学校	1	個人蔵
愛知県刈谷中学校	1	個人蔵
(高浜町)高浜港	1	個人蔵
(高浜町)吉浜養鶏場	1	個人蔵
(高浜町)春日神社	1	個人蔵
(高浜町)窯業状況	1	個人蔵
(三河大濱)魚市場	1	個人蔵

資料名	枚数	所蔵者
(三河大濱)港橋付近	1	個人蔵
(三河大濱)三河新須磨海岸浴場	1	個人蔵
(三河大濱)停車場付近	1	個人蔵
(三河大濱)港口ヨリ新須磨ヲ望ム	1	個人蔵
棚尾役場舎場正面	1	個人蔵
季節の絵はがき		
桜	5	当館蔵
茶	2	当館蔵
藤	2	当館蔵
海水浴	4	当館蔵
つつじ	2	当館蔵
花火	2	個人蔵
スケート	1	個人蔵
記録絵はがき		
第一回国勢調査	3	個人蔵
夜間郵便飛行	4	当館蔵
航空郵便飛行	2	当館蔵
登山記念	1	個人蔵
エンタイア 戦役記念	1	個人蔵
戦役記念(エンタイア)	2	当館蔵
エンタイア 三越呉服店	1	個人蔵
エンタイア 平和記念	1	個人蔵
花車		
銀婚式	4	当館蔵
東京市御大礼奉祝	2	個人蔵

同時開催 戦争と人々の暮らし展

□ 展示趣旨

太平洋戦争の終結からちょうど75年、戦争の時代は遠い昔となり、当時を知る人は年々少なくなっています。戦争当時、人々がどのようなことを考え、どのような暮らしをしていたのか、平和を享受している現代の私たちも知っておくべきと考え、この展示を企画しました。

この展示では、当館の収蔵品の中から、戦争当時の内地の人々の暮らしの資料を主に展示しました。なお、2階の常設展示「戦時資料」コーナーもこの展示の一環としました。

※ 会場・入場料・印刷物・期間中の入場者数は「時代を切り取る近代の絵はがき」展と同じです。



□ 展示資料リスト

資料名
－ 団結する人々 －
たすき「愛国婦人会」「大日本国防婦人会」
大日本国防婦人会知立分会宣誓・宣言文(コピー)
慰問袋
支那事変国債募集のポスター
貯蓄奨励のちらし「県民一心16億貯蓄」
戦時の債権類
パネル「昭和16年度慰問袋配当表・昭和16年度第6回債券各字配当表」
昭和17年記録帳 第三隣組(本町)
絵葉書「報告第三五五号(知立町民号)」 拡大パネルも展示
写真パネル「大日本国防婦人会知立町分会上重原班による毛布献納」
－ 不足する人手と物資 －
中島航空金属(株)知立製造所の従業員証 昭和19.4.10交付
中島航空金属(株)知立製造所で作られていた戦闘機エンジンの部品
中島航空金属(株)知立製造所 学徒勤労報国隊 皆勤賞
写真「刈谷高女生の作業着姿」 拡大パネルも展示
刈谷高等女学校生のたすき
刈谷高等女学校生のワッペン
半田高等女学校の腕章「勤労報国隊」
写真パネル「刈谷高等女学校学園工場で働く女学生」
写真パネル「すがいない」
写真パネル「勤労奉仕をする刈谷中学の学生」
衣料切符(第一種、第二種、甲) 昭和19年4/1～20年3/31
家庭用米穀並必需物資総合配給購入通帳
木製の柄に貝のをつけたおたま
防衛食容器
竹製のボタン
陶器製の校章・ボタン
写真パネル「梵鐘の供出」
写真パネル「内藤魯一像の供出」
写真パネル「火の見櫓の供出」
－ 迫る危険、我らも戦おう －
ポスター「防毒面の種類と用途」
防空頭巾 大人用・子供用
消火弾

資料名
鉄兜(防空用)
木銃
竹槍
ラッパ 西中町で保管
写真パネル「防空演習の婦人」
－ 戦時色に染まる文化 －
『週刊毎日』 昭和19年
雑誌「銃後」 裏表紙を展示
映画館ちらし「英国崩るるの日」(「戦捷賀春」青映週報) 昭和18.1.1
軍事講演と映画会チケット
愛国コードモフンバツスゴロク 昭和16年
新行軍将棋
扇子(愛国行進曲の歌詞)
軍歌のレコード「出征兵士を送る歌」
新興軍歌集等 昭和17年
(2階常設展「戦時資料」)
－ 戦争中の教科書 －
ヨイコドモ 上
カズノホン ー
ウタノホン 上
初等科地理 下
ヨミカタ 二
復刻 墨塗り教科書 ヨミカタ 二
－ 出征 －
写真パネル「徴兵検査」
赤紙説明パネル
赤紙レプリカ
写真パネル「出征写真」
日章旗「祈武運長久」
奉公袋
軍隊手牒
軍靴
ゲートル
千人針用胴巻

企画展示

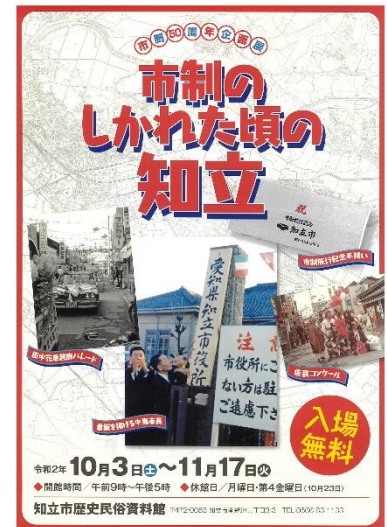
市制 50 周年企画展 市制のしかれた頃の知立

10月3日～11月17日

□ 展示趣旨

1970年（昭和45年）12月1日、愛知県下26番目の市として知立市は誕生しました。当時の日本は、敗戦後の復興から劇的な高度経済成長を遂げ、1968年には国民総生産が資本主義国のなかで第2位となるなど、大変活気に満ちた時代でした。知立においても、団地を誘致するなど、経済発展を支える住宅都市として人口増加が著しい状況にありました。知立町から知立市となることは、生活環境の整備を進め、より住みよい知立を実現するための契機となりました。

本展示では、市制施行に至る経緯や祝賀行事、当時の知立の施設や生活の様子、また当時の世相などについて、写真や地図、当時の生活資料などから振り返りました。



□ 会場 1階展示室

□ 入場料 無料

□ 印刷物 チラシ5,000枚、ポスター300枚、
展示パンフレット（A4カラー・20頁）1,500部

□ 期間中の入館者数（会期日数） 3,361人（38日間）



□ 展示資料リスト

資料名	時代	所蔵
1. 市制施行		
【市制施行に至った経緯】		
知立新聞号外（合併関係）2枚	昭和39年	当館蔵
刈谷市知立市合併問題経過報告書	昭和41年6月	当館蔵
パネル3（人口推移、法律要件、条例要件）		
協議資料	昭和45年7月	知立市役所蔵
町民への説明会開催チラシ	昭和45年8月頃	当館蔵
町を市とすることの申請書	昭和45年9月	知立市役所蔵
広報ちりゅう 1970.12.1号	昭和45年12月	知立市役所蔵
写真パネル「知立市役所の看板を掲げる中島市長」	昭和45年12月	原本:市史編さん係蔵
写真パネル「開庁のテープを切る中島市長」	昭和45年12月	原本:市史編さん係蔵
看板「愛知県知立市役所」	昭和45年	当館蔵
大パネル「知立町全図」	昭和44年	1969年町勢要覧より
【市制施行記念行事】		
市制施行記念式典プログラム	昭和45年	知立市役所蔵
市制施行記念手ぬぐい	昭和45年	当館蔵
市制施行記念たばこ	昭和45年	当館蔵
写真パネル 5枚	昭和45年12月	原本:市史編さん係蔵
「祝賀アーチ」「アドバルーン」「式典写真」「人文字」「名誉市民に推挙された高木高治郎氏」		
市制施行イベントチラシ	昭和45年	当館蔵
広報ちりゅう 1971.1.1号	昭和46年	知立市役所蔵
写真パネル 7枚	昭和45年12月	原本:市史編さん係蔵
「花車で市内をパレード」2枚「バトンガールが市内をパレード」「仮想コンクールの記念撮影」「街頭踊り」「芸能人のサイン会」「知立駅前でモデルによる記念撮影大会」		
2. 市制施行の頃の知立		
大パネル「市制施行の頃の知立」（まつり写真のところ）		
【当時の施設から】		
旧市役所各部局の看板 6枚	昭和45年	当館蔵
写真パネル「知立市役所」	昭和41年頃	原本:知立市役所蔵
写真パネル 8枚	昭和44～45年頃	原本:市史編さん係蔵
「知立市役所の中の様子」「中央公民館（公会堂）」「知立市消防本部」「知立電報電話局」「知立商工会館」「名古屋法務局知立出張所」「移動図書館」「名鉄知立駅」		
【市街地の様子】		
昭和47年各通り商店街の店パネル		
写真パネル「銀座通り」	昭和45年頃	原本:知立市役所蔵
写真パネル「銀座通り」	昭和44年頃	原本:市史編さん係蔵
写真パネル「本町通り」	昭和47年	原本:市史編さん係蔵
写真パネル「劇場通り」	昭和40年頃	原本:市史編さん係蔵
写真パネル「新地通り」	昭和47年	原本:市史編さん係蔵
写真パネル「弘法通り」	昭和44年頃	原本:市史編さん係蔵
写真パネル「新駅通りと中央通りの交差する付近」	昭和40年代	原本:市史編さん係蔵
写真パネル「新駅通り」	昭和45年頃	原本:知立市役所蔵
写真パネル「中央通り」 2枚	昭和45年	名古屋銀行知立支店所蔵
写真パネル「名鉄知立駅と中央通り商店街入口を俯瞰」	昭和41年頃	原本:知立市役所蔵
写真パネル「犬と戯れる子供たち」	昭和40年代	原本:個人蔵
写真パネル「乳児検診」	昭和41年頃	原本:市史編さん係蔵
写真パネル「知立保育園(養正館)で遊ぶ園児たち」	昭和44年頃	原本:市史編さん係蔵
写真パネル「近所の女の子同士で遊ぶ」	昭和43年頃	原本:個人蔵
写真パネル「知立幼稚園で給食を食べる園児たち」	昭和44年頃	原本:市史編さん係蔵
写真パネル「来迎寺保育園で遊ぶ園児たち」	昭和44年頃	原本:市史編さん係蔵
【国道の様子】		
写真パネル「国道1号線御林交差点付近から東側」	昭和45年頃	原本:市史編さん係蔵
写真パネル「国道1号線逢妻大橋付近」	昭和41年頃	原本:知立市役所蔵
写真パネル「国道155号線名鉄高架下付近」	昭和45年頃	原本:市史編さん係蔵

資料名	時代	所蔵
写真パネル「国道1号線御林交差点付近」	昭和45年頃	原本:市史編さん係蔵
【当時の小学校、小中学生の写真など】		
写真パネル「知立の小学校で遊ぶ子供たち」2枚	昭和41年頃	原本:知立市役所蔵
写真パネル「知立小学校の鼓笛隊」	昭和44年頃	原本:市史編さん係蔵
写真パネル「知立東小学校の交通指導」	昭和45年頃	原本:市史編さん係蔵
写真パネル「猿渡小学校の校庭で」	昭和44年頃	原本:市史編さん係蔵
写真パネル「来迎寺小学校」	昭和44年頃	原本:市史編さん係蔵
写真パネル「食事風景」	昭和40年代	原本:個人蔵
写真パネル「遊び仲間と」	昭和40年代	原本:個人蔵
3. 当時の生活 — 昭和40年代（1965～1974） —		
【イメージ展示「昭和40年代頃の暮らし」】		
飯台		当館蔵
中皿		当館蔵
ほかの茶碗類・箸など		個人蔵
ポット		当館蔵
保温ジャー	昭和42年発売	当館蔵
座布団	昭和40年代頃～	個人蔵
白黒テレビ	昭和40年発売	当館蔵
テープレコーダー	昭和40年代使用	当館蔵
買物かご	昭和40～50年代	当館蔵
黒電話	昭和30年代	当館蔵
小台（黒電話用に使用）	昭和時代	当館蔵
食器戸棚(蠅帳)	昭和時代	当館蔵
棚内のガラス小瓶、来客用急須・湯呑	昭和時代	個人蔵
ラジオ	昭和33年か	当館蔵
柱時計	昭和30年以前	当館蔵
リッカーミシン	昭和37年頃	当館蔵
【昭和40年代に使われていたもの】		
<食事にかかわる道具>		
電気冷蔵庫	昭和44年発売	当館蔵
中のバターケース、ガラス瓶	昭和時代	個人蔵
中の麦茶ポット	昭和時代	個人蔵
ガス炊飯器	昭和45年発売	当館蔵
電子レンジ	昭和44年発売	当館蔵
ジュース・ミキサー	昭和48年発売	当館蔵
アルマイト弁当箱（花柄）	昭和40年代	当館蔵
アルマイト弁当箱（帰ってきたウルトラマン）	昭和40年代	個人蔵
<衛生にかかわる道具>		
電気洗濯機	昭和36年	当館蔵
日立アイロン	昭和35年発売	当館蔵
ナショナル自動電気裁縫こて	昭和45年発売	当館蔵
美容スチーマ	昭和46年発売	当館蔵
エチケットライオン	昭和40年代か	当館蔵
<冷暖房の道具>		
クーラー	昭和47年発売	当館蔵
石油ストーブ	昭和43年購入	当館蔵
扇風機	昭和48年購入	個人蔵
<情報・娯楽・趣味の道具>		
（参考）カラーテレビ	昭和55年発売	当館蔵
トランジスタラジオ	昭和40年製	個人蔵
クロックラジオ	昭和45年発売	個人蔵
目覚まし時計	昭和41年発売	当館蔵
置時計	昭和44年発売	当館蔵
黒電話	昭和38年発売	当館蔵
アンサンブル型ステレオ	昭和39年発売	当館蔵
ステレオ内レコードプレーヤー上のレコード		当館蔵

資料名	時代	所蔵
レコードプレーヤー	昭和46年頃	当館蔵
レコードプレーヤー上のレコード「ウルトラQ」		当館蔵
レコード類	昭和40年代頃	当館蔵
カセットテープレコーダー	昭和45年発売	個人蔵
マミヤ二眼レフカメラ	昭和41年発売	個人蔵
カメラ (オリンパスペンEE-3)	昭和40年代初	当館蔵
撮影機「フジカシングル8」	昭和40年頃発売	当館蔵
8ミリ映写機	昭和43年頃発売	当館蔵
<その他の道具>		
電子式卓上計算機	昭和43年発売	当館蔵
英文タイプライター	昭和43年頃購入	当館蔵
<子どもの道具・おもちゃ>		
ピーターパン幼児自転車	昭和44年発売	個人蔵
ベビーカー	昭和45年購入	個人蔵
トンカのダンプカー	昭和45年購入	個人蔵
りかちゃん人形と着せ替え服		当館蔵
ブリキのおもちゃ「鳥」	昭和30～40年代使用	当館蔵
ブリキのおもちゃ「三輪車」	昭和30～40年代使用	当館蔵
ブリキのおもちゃ「サイドカー」	昭和30～40年代使用	当館蔵
幼児絵本 3冊	昭和40年代	個人蔵
モンテッチ	昭和40～50年代使用	個人蔵
参考：ハローキティのミニチュアセット	昭和50年代	個人蔵
<広告・雑誌>		
昭和45年の知立町内の折り込み広告 7枚	昭和45年	当館蔵
くらしの手帖 2冊	昭和44年	当館蔵
週刊読売スポーツ	昭和40年1月	当館蔵
自動車ガイドブック 1969～70年版	昭和44年	個人蔵
週刊少年マガジン	昭和42年7月	当館蔵
週刊少年サンデー 2冊の内1冊	昭和42年5月	当館蔵
【憧れの団地生活】		
写真パネル「上空から見た知立団地」	昭和44年頃	原本:市史編さん係蔵
写真パネル「引っ越し始まる」	昭和41年末頃	原本:市史編さん係蔵
写真パネル「知立団地」	昭和45年頃	原本:市史編さん係蔵
団地入居書類 契約手続きのご案内、契約書、受付番号通知票	昭和50年	当館蔵
部屋内写真 テーブル食事	昭和44年頃	原本:個人蔵
〃 お風呂	昭和63年	原本:個人蔵
4. 当時の世相から		
月面着陸記事	昭和44年	当館蔵
大阪万博関係資料		
太陽の塔 (土産品)	昭和45年	当館蔵
EXPO'70パンフレット	昭和45年	当館蔵
EXPO'70カラーガイド 高1高2 蛍雪時代合同臨時増刊	昭和45年	当館蔵
大阪万博地球 夕-展望券、ダイダラザウルス乗り物券	昭和45年	当館蔵
大阪万博入場券	昭和45年	当館蔵

企画展示

ひなまつり展

2月6日～3月28日

□ 展示趣旨

毎年この時期におひなさまを展示しています。当館にこれまで寄贈いただいた明治時代初期～昭和30年代までの雛人形や雛飾りを、一堂に展示しました。

今回は地元の雛人形着付工程専門の「佐合人形」さまにご協力をいただき、雛人形の着付工程の紹介や、雛人形の着る美しい西陣織の生地などもあわせて展示しました。また当地のひなまつりでよく食べられたもの、箱寿しやつぼ(タニシ)とわけぎの酢味噌和えなどを紙粘土で作り、当時の食器に盛り付けて展示し、目新しさを加えました。

楽しく、そしてより深くおひなさまのことを知る7問の「ひなまつりクイズ」も実施しました。



- 会場 1階展示室
- 入場料 無料
- 印刷物 チラシ 5,000枚、ポスター 300枚
- 期間中の入館者数(会期日数) 3,999人(43日間)
- 関連イベント

恒例の愛知県内おひなさま展示館を巡る「ひなまつりスタンプラリー」が、コロナ禍に対応して「ひなまつりスタンプシールラリー」として企画され、参加を予定しておりましたが、緊急事態宣言の発令により延期ののち、中止となりました。



□ 展示資料リスト

資料名	時代
雛人形製作過程紹介	
パネル「着付の工程」	
佐合人形製作 雛人形 一式	現代
西陣織 3本	現代
明治のおひなさま	
内裏雛	明治時代
天神人形	明治時代
大正・昭和初期のおひなさま	
内裏雛 一对	大正時代
内裏雛 一对	昭和2年
源氏袴飾り雛 一式	大正12年頃
おこしもの型	
おこしもの型 瓦製	江戸時代
おこしもの型 木製 鯛、お雛様、トラック、飛行機、船、 馬、鶏、熨斗、花	昭和時代
変わりびな	
変わりびな (高砂人形)	大正12年頃
変わりびな (連獅子か)	大正12年頃
変わりびな (胡蝶の舞)	昭和10-12年頃
変わりびな (舌切り雀)	大正12年頃
変わりびな	大正12年頃

資料名	時代
屏風飾り	
七段飾り	昭和前期
五段飾り	昭30年頃
二段飾り	明治元年頃
御殿飾り	
御殿段飾り (紫宸殿モデル)	昭和前期か
御殿段飾り (紫宸殿モデル)	昭和33年
御殿段飾り (東照宮モデル)	昭和30年代
御殿段飾り (東照宮モデル)	昭和30年代
一箱に飾った人形 ケース人形・市松人形など	
ケース人形 2点	昭和時代
ケース人形「道成寺」	大正時代
市松人形 2点	昭和時代
裸人形	昭和36年
男の子と女の子の立ち人形 2対	昭和時代
市松人形	昭和15年頃
土人形	
内裏雛(3対)、天神、翁と媼、白拍子、政岡、 初菊、おいらん、弁財天(2)	明治末～ 昭和初期
ひなまつりの食べ物	
ひなまつりの食べ物 (紙粘土製)	
箱寿し、つぼ(タニシ)とわけぎの酢味噌和え、 いがまんじゅう、ほろ(あられ)、おこしもの	
箱寿しの型	
おこしもの型	

同時開催 麗しき美人の世界 - 美人絵はがきからみる近代の美人像 -

□ 展示趣旨

ひな人形は一説によると、雅な貴族への憧れから作られたともいわれています。ひな人形の顔には時代に合わせた美しさが反映されているものです。日本の長い歴史の中で形作られてきた美人像は、文字や絵画など様々な形で表現されてきましたが、それは外見の美しさのみでなく、知性や教養を含めた内面的な美しさも含んだものでした。

本展示ではひなまつり展と関連して、物語から物語絵となった平安時代の美人像をパネルで紹介し、あわせて江戸時代に浮世絵に描かれた美人像も紹介しました。そして西洋文化が流入した明治時代から大正時代にかけての美人像を **同時代の30枚の「美人絵はがき」** を展示し、紹介しました。

※ 会場・入場料・印刷物・期間中の入場者数は「ひなまつり展」と同じです。



ミニ企画展示

常設展示や1階展示室で開催する企画展示のほかに、時事に合わせて、また展示資料の少ない分野の資料を紹介する目的で、小スペースを使ったミニ展示も行っています。

<2階民家>

2階展示室の中央にある、民家の一室をイメージした展示スペースです。

前半は昨年度からの「子どもの祝い事」をテーマに、昭和中期頃までの子どもの勉強道具やおもちゃ、子供雑誌などを展示しました。後半は「むかしの小学生」をテーマに、教科書や石盤、ランドセル、学校で使われた机やいす、ガリ版などを展示し、あわせて昔の時間割などをパネルで紹介しました。



子どもの祝い事



昔の小学生

<ロビー展示>

図書館との共用スペースであるロビーで、覗きケース2台を使った展示をしています。

前半は前年度3月から継続の「薬の歴史」をテーマにした展示でした。古代から現代まで各時代ごとの薬と人との関りについて解説し、当館に寄贈を受けた近代の薬箱や薬袋などを展示しました。

後半は「昭和のこどものおもちゃ箱」をテーマに、ビー玉、めんこ、ガン消し（ガシャポン戦士カプセルトイ）、キン消し（キン肉マン消しゴム）などを展示しました。



薬の歴史



昭和のこどものおもちゃ箱

教育・普及活動

新型コロナウイルス感染症予防措置のために4、5月を完全閉館したため、例年行っていたゴールデンウィークイベントと春の土器づくり講座は開催できませんでした。開館した6月以降は、2頁掲載のパネルを設置するなど感染予防措置をとりながら、可能な範囲で活動を行ってまいりました。

■ 義太夫お試し教室

国指定重要無形民俗文化財でありユネスコの無形文化遺産にも登録された「知立の山車文楽とからくり」の後継者育成事業です。上演の際、三味線にあわせて人形浄瑠璃芝居を語る役目を義太夫といい、その義太夫と三味線の初心者向けの稽古を行うものです。平成29年度から実施しています。

- 講師 豊澤千賀龍師匠及び知立市義太夫会
- 日程 令和2年5月から令和3年3月の毎月第4土曜日 午後6時～8時
※新型コロナウイルス感染症予防のため5月及び1月は中止となりました。
- 場所 知立市中央公民館他
- 受講者 16人



□ 成果発表会

11月15日(日)、パティオ池鯉鮒の光のパティオで開催された「秋の山車文楽公演」の中で、教室受講生も発表を兼ねて「傾城阿波の鳴戸 順礼歌の段」を、知立山車文楽保存会中新町人形連の方々とともに上演しました。



■ 資料館講座「やさしい古文書」

令和元年度から始まった講座です。古文書の読み方の基礎や江戸時代の歴史や文化について学んでいただくことを目的とした講座です。昨年度から引き続き受講の21人と新たに10人を募集しました。

- 講師 藤井智鶴氏
- 日程 令和2年6月から令和3年3月（8月、11月を除く）
毎月第2日曜日 午後1時30分～3時（一部変更あり）
- 場所 知立市図書館2階 視聴覚室
- 内容 使用資料
「肥後国海中の怪（アマビエの図）」（京都大学附属図書館所蔵）
「御家書札大成 五月節句状」（東京学芸大学附属図書館所蔵）
水野増三書状（資料館寄託資料「水野家文書」より）
- 受講者 31人



■ 博物館実習

原則1大学につき1名という条件で、大学から要請のあった学生を受け入れ、実務実習しています。

- 期間 令和2年8月4日（火）～8月8日（土） 9:30～16:00
- 受入学生

愛知大学 地域政策部地域政策課地域文化コース	1名
名古屋芸術大学 芸術学部芸術学科美術領域	1名
愛知学院大学 文学部歴史学科	1名
愛知教育大学 初等教育教員養成課程 美術選修	1名
中京大学 総合政策学部総合政策学科	1名
中部大学 人文学部歴史地理学科	1名

□ 日程と内容

日にち	実習内容
8/4（火）	オリエンテーション・市内文化財見学・館内概要説明と見学
8/5（水）	資料目録作成・展示企画実習1
8/6（木）	埋蔵文化財実習
8/7（金）	土器づくり実習・資料撮影実習
8/8（土）	展示企画実習2・反省会

資料目録作成では、令和2年度受入れのくすり看板資料の掃除と目録作成を行いました。

展示企画実習では、常設展の「昔のくらしの道具」コーナーの一部をグループにわかれて展示企画し、その意図を説明するとともに、毎年見学にくる小学3年生を対象にしたキャプションを作成し、最後にグループごとに発表してもらいました。

埋蔵文化財実習では、市内で発掘され当館で保存している木製品の洗浄と保存液交換、土器の拓本などの実習を行いました。

土器づくり実習では、当館の土器づくり講座と同様に、土器の作成を行い、資料撮影実習では、土器や文書資料の撮影方法を実習しました。



■ 市内小中学校新任研修の一環としての見学会

- 日時 8月28日(金)
- 参加者 21人
- 内容 市内小中学校の新任教員や市職員21人が、知立市の歴史等を学ぶため、市内の史跡等を巡ったのちに見学に訪れました。当館の常設展と企画展「時を切り取る近代の絵はがき」展の説明を行いました。

■ 資料館講座「土器づくり」

- 日時・場所
 - 土器づくり 11月1日(日)午後1時30分～4時
2階視聴覚室
 - 土器焼き 11月16日(土)午前10時～正午頃
荒新切遺跡
- 内容

知立市指定の史跡「荒新切遺跡」に親しんでいただく目的で行っている講座です。対象を小学4年生以上とし、野焼き用の粘土を使い、ひも状にして輪積みする方法を基本とし、当館所蔵の土器やこれまでの作品を見本に制作していただきました。





野焼きでは、木の土台の上に土器を並べ、上部に木組みを作った後、小さい木切れや落ち葉などをかけて燃やし、自然鎮火するまで焼きました。その間、遺跡説明の後、舞ざり式の火熾し体験や弓矢体験も行いました。

□ **参加者** 土器成形12人

(小学4年生3人、5年生3人、6年生1人、大人5人)

※新型コロナウイルス感染症予防のため、これまでの定員16人から12人に減らしました。



■ **市内小学校3年生の見学**

社会科「昔の暮らし」の学習の一環として、毎年秋～冬に市内の小学3年生が昔の暮らしの道具について学びに来館します。令和2年度は新型コロナウイルス感染症を懸念し、市内7校の内、来館は2校、1校は来館を予定していましたが緊急事態宣言発令により中止となりました。また1校は依頼により出前授業を実施しました。

来館校に対しては、密になることを避けるため、例年のクラスごとに案内しながら道具の説明をする形式から、少人数にグループ分けし、職員が1,2階に待機して説明する形式に変更しました。また説明時間・滞在時間ともに短くするよう心掛けました。

見学日	学校名	来館児童数
10月30日(金)	知立小学校	130人
11月5日(木)	来迎寺小学校	124人

出前授業

猿渡小学校3年生2クラスへは「昔の道具」の出前授業に行きました。説明の後、一部の資料に触れる体験も行い、最後は子供たちからの質問を受けました。

持参した資料：

黒電話、火のし、こて、石油ランプ、豆炭アンカ、和傘、古いお札



収集・保存活動

寄贈資料

例年市民の方々より寄贈依頼のあったものについて、係内で検討し受け入れてきました。しかし令和元年に市内で古い文書資料を廃棄したとの情報を得たため、令和2年4月、広報ちりゅうに「古いものを捨てる前に連絡を！」と掲載し、また市制50周年に関係する資料の提供も同時に呼びかけました。

令和2年度のご寄贈は以下の通りです、ここに記して感謝申し上げます。

資料名	時代
八ツ田地区野畑一統先祖法要関係書類 一式	昭和初年～平成
五月節句飾り 一式	昭和40年
黒電話	昭和時代
タイガー手動式計算器	昭和時代
五月節句人形「馬乗大将」 ケース入り	昭和46年頃
オリベッティ製英文タイプライター	昭和40年代
ナショナル美容スチーマ	昭和48～49年頃使用
スローポット	1970～1980年代
水がめ	～昭和初期
行火	～昭和初期
久野酒店頒布の財布	昭和時代前半
井戸車（織部焼）	江戸～大正
リッカーミシン	昭和37年頃
鳴音コマ、ヨーヨー、ダルマ落とし 昭和30年代東北土産品	昭和30年代
ウノ・カマキリ 原画・出版本・パネル等 約380点	昭和～平成
知立国民学校通知票・賞状	昭和21、22年
珠算能力検定証・賞状	昭和25年
刈谷商業家庭高等学校 商業課程通知簿	昭和32年頃
山町囃子連 買物帳・祝儀帳	昭和63年・平成2年
切手ファイル	
油団	昭和時代前半
『知立市(北部)土地宝典』	昭和53年発行
絵はがき 明治末～昭和初期 81枚	明治末～昭和初期
『尋常小学読書教本 巻二』	明治27年発行
近藤松右衛門家資料 一式	
コンスタンチン・ヴァボリス『日本人と参勤交代』ほか書籍9冊	
絵はがきアルバム 3冊計171枚	
梶秤 老貫六百匁 携帯用筒状袋付き	
段ボール甲冑(手作り甲冑) 幼児用・小学生用	令和2年
ガンダム消しゴム 384個	昭和時代末期
クロックラジオ 1970年製造	1970年
トンカ製ダンプカー	昭和45年
五島茂書「八橋伝説地業平歌碑之歌」(掛軸) ほか6点	
池鯉鮒宿問屋場棟札 4点	江戸時代
『東海道分間延絵図 第十四巻』(昭和57年発行) ほか13冊	
知立の近代写真多数所収のアルバム 2冊	
郷土史家隅田三郎氏作成資料 一式	
携帯野点セット	

資料名	時代
稲垣勝男氏作版画「遍照院」	
千支・知立関係版画、版画付きハガキなど 56点	
通い徳利 3点 (久野酒店・高砂屋)	
土人形 3点	
富山の菓売り家庭用箱	
かきつばたの塗り器 8点	
絞りの浴衣	昭和35, 36年頃
裸人形	昭和36年
75年航空住宅地図帳 知立市区版	1975年
掛軸 遊び絵	昭和17年
岡田式唐箕	
知立市制10周年記念の非常持出袋	昭和55年
写真「花車」「秋葉まつり」	昭和20年代
よねや本店関係写真 12枚	昭和20年代～30年代初
八橋農協開店時写真・JAあいち中央知立東支店開店時写真(テ-ク)	
かきつばた祭り・花しょうぶまつり撮影会写真 12枚	昭和20年代～30年代初
知立町消防団分団長集合写真など2枚	昭和20年代～30年代初
写真データ 観光ボランティア発足時～ 16枚	
写真データ 無量壽寺関係ほか 10枚 (新旧茶室・業平像・ミスカきつばたコンテストなど)	
土人形 恵比寿・大黒 2組	
浮世絵 12点 広重 保永堂版東海道五十三次 池鯉鮒 首夏馬市 広重 行書版東海道五十三次の内 池鯉鮒 広重 蔦吉版東海道五十三次の内 池鯉鮒 広重 堅絵東海道五十三次名所図会 池鯉鮒 八つ橋むら杜若の古せき(2) 国貞美人東海道五十三次の内 池鯉鮒ノ図 五雲亭貞秀 末広五十三次 池鯉鮒 豊原国周 行列東海道 池鯉鮒 有松之景 立祥(二代広重) 東海道 池りう 立祥(二代広重) 東海道五拾三駅 地鯉鮒 馬市 国周 文治四年摂州大物浦難風の図 広重 名所江戸百景 金杉橋芝浦	
和田英作関連資料 ハガキ(2)、書簡、富士の団扇絵(2)	昭和前期
山内一生 富士の絵	
『平成11年土地宝典』(知立土地改良区知立南部工区)	平成11年
『知立市商工会三十年史 あゆみ』	平成3年
写真 知立町農会集会場ほか 2点	
山町製作知立まつり関係手ぬぐい 5点 山町祭蔵竣工記念、上海万博出演記念、ユネスコ無形文化遺産候補 知立まつり(山町囃連)、知立まつり(山町梶棒方)	平成時代

新規寄託資料

資料名	時代
内藤魯一及び内藤家関係資料 一式	江戸時代～昭和初期

令和2年10月～令和3年1月にかけて新たに内藤魯一関係資料及び、内藤家の資料が多数寄託されました。来年度以降順次、資料を整理し目録作成を行っていきます。

資料整理・調査

受入資料は、清掃・分類・番号付・目録作成・撮影を行い、燻蒸の後に収蔵庫におさめています。

令和2年度、資料整理の中心となったのは寄贈を受けた近藤松右衛門家資料の受入れと、調査のため借用した前嶋家資料の目録作成作業です。作業は、現在新編知立市史の編さんを進めている知立市文化課市史編さん係と協力して行いました。前嶋家文書は、知立町の時代に3度町長となった前嶋満助氏とその家、前嶋家の文書類で、近代知立に関わる資料が多く含まれています。この整理作業は令和3年度も継続して行う予定です。

ここでは、本年度整理を終了した近藤松右衛門家資料の一部を紹介します。

近藤松右衛門家は旧東海道に面した現知立市中町にあり、少なくとも270年以上前から当地に在住し、江戸時代には松嶋屋の名で旅籠屋を営んでいました。その後おそらく明治になってから薬屋を開業し、平成27年まで松島屋薬局として営業を続けていました。その薬局店舗は嘉永7年(1854)に建てられた旅籠時代の建物を改修したもので、このほど老朽化に伴って敷地内の蔵を含めた全建物と共に解体撤去され、その際に多数の資料が当館に寄贈されました。

この家の当主は近藤松右衛門あるいは松衛を代々名乗っており、当館では本資料を「近藤松右衛門家資料」と名付け整理作業を行いました。資料内容は400点余の文書資料と約200点の文書外資料(もの資料)です。もの資料の半分は薬の看板、半分は薬局で使われた道具や暮らしの資料でした。以下の写真は、薬の看板の一部です。



これら薬の看板資料は、あらためて展示を企画し、披露する予定です。

受領図書

寄贈者(敬称略)	書名
公益財団法人 愛銀教育文化財団	Ayuchi86号～88号
愛知トリエンナーレ実行委員会	あいちトリエンナーレ2019ダイジェスト
愛知学院大学文学部	愛知学院大学考古学発掘調査報告29 萩平遺跡A地点隣接地の発掘記録6/愛知学院大学考古学発掘調査報告30 古城山窯跡第2次発掘調査概要報告書
愛知県公文書館	愛知県公文書館だより 第25号
愛知県政策企画局広報公聴課	あいちのトピラ
愛知県陶磁美術館	館報第27号
愛知県文化協会連合会事務局	県文連45周年 文藝誌
愛知県県民文化局	史跡貝殻山貝塚整備事業報告書
愛知県埋蔵文化財センター	調査報告書 第148集 清洲城下町遺跡X・朝日遺跡X/年報 令和2年度
愛知大学	博物館学芸員課程年報 第25号/愛知大学総合郷土研究所ブックレット30
愛知大学総合郷土研究所	愛知大学総合郷土研究所所蔵文書目録4/愛知大学総合郷土研究所紀要 第66輯
熱田神宮宝物館	宝物館だよりNo.235～240/日本の聖地を訪ねて～京の社に伝わる名宝の数々～
新居関所史料館	年報 平成30・31(令和元)年度
安城市歴史博物館	研究紀要24号/れきしみちNo.116～120/年報/図録「戦争に行くということ」/終戦75周年記念企画展「描かれた戦争-警察官が見た戦中戦後の愛知-」パンフレット/開館30周年記念特別展図録「家康と松平一族」
安城市教育委員会	安城市埋蔵文化財発掘調査報告書 第44集 安城西鹿乗地区の遺跡 塚上遺跡/第45集「平成29年度市内遺跡調査報告書 天神遺跡
射水市教育委員会	放生津八幡宮祭 曳山行事・築山行事総合調査報告書
一般財団法人地域創造	2019年度 地域の公立文化施設実態調査報告書/地域創造レターNo.302～311/地域創造第46号
一般財団法人日本原子力文化財団	原子力文化609号
稲沢市教育委員会	祖父江支所・平和支所地区 他誌/稲沢市文化財調査報告LXIV 稲沢市内遺跡発掘調査概要報告書(VII)
INAXライブミュージアム	NEWS LETTER vol.52
馬の博物館	図録「和の匠 浮世絵に生きる馬の風景」/研究紀要 第22号
江戸東京博物館	江戸東京博物館NEWS109号～112号/18世紀のソウルの日常/紀要第10号/調査報告書第34集 名所江戸百景と浪花百景
大口町教育委員会	年報 令和元年度/研究紀要 X VII
大府市歴史民俗資料館	棧敷貝塚-宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告-/年報31
岡崎市美術博物館	アルカディア第83号～85号
お茶の水女子大学自然人類学教室 近藤恵	浜松市浜北区根堅遺跡発掘調査報告書
小浜市教育委員会	小浜放生祭総合調査報告書
各務原市歴史民俗資料館	かがみかはら百科01
春日井市教育委員会	令和元年度市内遺跡調査概要報告書/遺跡解説パンフレット 南東山古墳/郷土誌かすがい第79号
春日井市道風記念館	道風記念館だより第55号～57/特別展[「王朝文学と古筆切」]図録
神奈川大学日本常民文化研究所	歴史と民俗36～37/民具マンスリー 第52巻10～12号 第53巻1号～12号
蟹江町歴史民俗資料館	年報 第40号/年報 第41冊
可見市教育委員会教育文化財課	宿遺跡及び可見市市内遺跡発掘調査報告書(H28～29年度)
可見市役所文化スポーツ部文化財課	可見市埋文調査報告57 可見市市内遺跡発掘調査報告書(平成30～令和元年度)
蒲郡市教育委員会	蒲形陣屋発掘調査報告書
亀山市歴史博物館	日本書紀編纂1300年 ヤマトタケル-その愛と死-/亀山市史 美術工芸編・DVD
刈谷市郷土文化研究会	かりや第41号
刈谷市美術館	年報
刈谷市歴史博物館	刈谷市歴史博物館NEWS vol.03～05/年報 第1号/刈谷市制施行70周年記念企画展「徳川家康の遺産-徳川美術館所蔵品で綴る-」解説パンフレット/刈谷市制施行70周年記念企画展「徳川家康の遺産-徳川美術館所蔵品で綴る-」鑑賞ガイド
岐阜県博物館	館報43号/調査研究報告第40号
岐阜県文化財保護センター	北方京水遺跡II/調査報告書第150集 大屋敷遺跡/調査報告書第153集 国分寺遺跡
行田市郷土博物館	研究報告 第10集/第30回テーマ展「忍藩の武術」展示解説図録
京都文化博物館	研究紀要 朱雀第32集

寄贈者(敬称略)	書名
草津市教育委員会	草津宿場町遺跡(第16次)発掘調査報告書／草津市文化財年報27／草津市文化財調査報告書132 榊差遺跡・榊差古墳群・黒土遺跡発掘調査報告書
草津宿街道交流館	草津宿日和10号
㈱クマヒラ ㈱熊平製作所	抜萃のつどり その八十
現代美術地域展開事業実行委員会	境界のかたち 現代美術in大府 開催報告書
皇學館大學研究開発推進センター	紀要第7号／年報第7号
高知県立歴史民俗資料館	岡豊風日第109／年報
江南市歴史民俗資料館	年報
国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗資料館研究報告 第219～221集／要覧2020年度版
小平市地域振興部文化スポーツ課	小平市埋蔵文化財発掘調査報告書第58集 鈴木遺跡発掘調査総括報告書
小牧市教育委員会	市内遺跡発掘調査報告書(25)／江崎文書目録・資料編(抄) 小牧市古文書目録シリーズ9／史跡小牧山発掘調査報告報告書2(主郭地区第1～8次発掘調査)
斎宮歴史博物館	史跡斎宮跡 平成30年度発掘調査概報／斎宮跡発掘調査報告Ⅲ 下園東区画の調査 遺構編
埼玉県立川の博物館	かわはくNo.66～68
枝下用水資料室	続・枝下用水日記No.1～No.3
杉本美術館	杉本美術館だより132～135
椋山女学園大学	Bulletin of Sugiyama Museology 26
鈴鹿市教育委員会	鈴鹿市考古博物館年報第21号／特別展「塩を作り、運ぶ～伊勢湾をめぐる～」／速報展「発掘された鈴鹿2018」／「発掘された鈴鹿2019」
諏訪市教育委員会	第80集 市内遺跡発掘調査報告書(令和元年度)－長野県諏訪市内遺跡発掘調査報告書－
瀬戸蔵ミュージアム	企画展「瀬戸の青磁－その始まりと展開－」図録
瀬戸市文化振興財団 埋蔵文化財センター	磁器生産の成立と展開－江戸後期の瀬戸窯と美濃窯－
高岡市教育委員会	高岡市埋蔵文化財調査概報 第80冊 富山県高岡市 市内遺跡調査概報29
高浜市	高浜市のあゆみ資料③地域のつながり・あらたなつながり／たかはま 歴史・まちづくりシンポジウム②講演録」
宝町山車修理委員会	宝町水引幕と山車蔵 保存版
武豊町歴史民俗資料館	武豊の歴史探訪
多治見市教育委員会	多治見市文化財保護センター研究紀要第14号
田原市博物館	崋山会報第44-45号／研究紀要 田原の文化／企画展「ふるさとの歴史展」パンフレット
玉川文化財研究所	御幣山遺跡 第9次調査 発掘調査報告書
知多市歴史民俗博物館	知多市文化財資料第46集 送り一札
中京大学文学会	中京大学文学会論叢 第7号
公益法人ちゅうでん教育振興財団	Newえるふ vol.23
中部原子力懇談会	C-press vol.118
津市教育委員会	津市文化財年報12～14
東海国立大学機構大学文書資料室	名古屋大学大学文書資料室ニュース 第37号
東海市教育委員会	完全版 細井平洲
徳川美術館	AOI No.115-118
特定非営利活動法人文化遺産の世界	世界遺産の世界Vol.36
富山県埋蔵文化財センター	埋文とやま 第150-153号／富山県出土の重要考古資料12 とやまの古墳時代集落遺跡等出土品／県営農地整備事業上条中部地区埋蔵文化財試掘調査報告／図録令和2年度特別展「BONE(骨)－貝塚で知る生命の証－」
豊川市桜ヶ丘ミュージアム	年報 令和元年度／企画展「郷土作家 竹本鉄夫展」図録／企画展「三河ではじめての中学校宝飯中学校」図録／「島田卓二、黒田清輝とその周辺」図録
豊田市郷土資料館	猿投山／しりょうかんだより 第42～43号／豊田市郷土資料館だよりNo.107～109／令和2年度豊田市郷土資料館特別展「渡邊半蔵家－徳川を支えた忠義の槍－」展示図録
豊田市生涯活躍部文化財課	第82集神明遺跡Ⅳ／第83集寺部遺跡Ⅹ／第84集寺部遺跡ⅩⅠ／平成30年度市内遺跡発掘調査事業概要報告書
豊田市文化財課市史編さん室	豊田市史研究 第11号
豊田市民芸館	豊田市民芸館だより第29～30号
豊橋市教育委員会	豊橋市埋蔵文化財調査報告書第126、151～153集
豊橋市二川宿本陣資料館	「街の移ろい 地図と絵葉書にみる豊橋の明治・大正・昭和」展示図録
豊橋市美術博物館	風伯 106～108号／吉田天王社と神主石田家／企画展「未来へつなぐ災害の歴史－地震・火事・台風・竜巻－」展示会カタログ
名古屋港水族館	さかなかな vol.105～108

寄贈者(敬称略)	書名
名古屋市教育委員会	埋蔵文化財調査報告書86 高蔵遺跡第60次/埋蔵文化財調査報告書87 瑞穂遺跡第11次/大曲輪遺跡試掘調査概要報告書ー平成27・28・30年度および令和元年度試掘調査の概要ー/仁所遺跡第3次発掘調査報告書/熱田神宮内遺跡Ⅲー剣の宝庫 草薙館新築工事に伴う発掘調査報告書ー/体感!しだみ
名古屋市博物館	名古屋市博物館だより 231
名古屋市蓬左文庫	蓬左 No. 100
名古屋城総合事務所	名勝名古屋城二之丸庭園発掘調査報告書第4次～第6次
名古屋大学大学院人文学研究科考古学研究室	東山118号窯発掘調査報告書
奈良大学文学部文化財学科	文化財学報 第38集
奈良文化財研究所	埋蔵文化財ニュースNo.178～181
南山大学人類学博物館	人類学博物館紀要39
西尾市岩瀬文庫	岩瀬文庫だよりNo.65～67/企画展「好古～日本考古学のあけぼの～」/図録特別展「西尾の古代・中世ー吉良荘と吉良氏の光芒ー」/企画展「悪疫退散」
西尾市教育委員会	西尾市石塔悉皆調査報告書/西尾城絵図集
西尾市市史編さん委員会	新編西尾市史研究 第6～7号/新編西尾市史 資料編2 古代・中世
日本文化財保護協会	令和2年度埋蔵文化財調査要覧/会報「飛天」/紀要第4号
野田史料館	野田史料館報 157～159号
白山市立松任中川一政記念美術館	獨行道 第29号
箱根町教育委員会	史跡 箱根旧街道保存活用計画
秦野市(睦合文化財株式会社)	金堀塚古墳群
浜松市地域遺産センター	浜松城跡26次調査の概要/浜松城下町遺産2/平成30年度 浜松市文化財調査報告/高塚町村西遺跡/東畑屋遺跡2/史跡 二俣城及び鳥羽山城跡 保存活用計画/梶子遺跡23次
浜松市博物館	浜松市博物館報32～33/特別展図録「古代東海道駅伝展」/特別展図録「浜松城」
半田市立博物館	平成31年度(令和元年度)年報・紀要
彦根城博物館	彦根城博物館だより 第129～132号
飛騨市教育委員会	古川祭史研究紀要
平塚市教育委員会社会教育課平塚市埋蔵文化財調査事務所	平塚市試掘・確認調査報告書3/平塚市埋蔵文化財シリーズ51 稲荷前B遺跡ー第6・7地点ー/平塚市埋蔵文化財シリーズ50 厚木道遺跡ー第8・9地点ー/平塚市埋蔵文化財緊急発掘調査報告書21 北金目塚越/大会原/天摩
藤沢市教育委員会	藤沢市文化財調査報告書 第55集/南鍛冶山遺跡発掘調査報告書 藤沢都市計画事業北部第二(二地区)土地区画整理事業に伴う調査 第16巻 古代12
富士市市民文化振興課文化財担当	沖田遺跡第155次調査地点 富士市埋蔵文化財調査報告 第68集/宇東川遺跡Z地区 富士市埋蔵文化財調査報告 第69集
古橋懐古館	古橋懐古館だより 7号～9号
碧南海浜水族館・碧南市青少年海の科学館	碧南海浜水族館 年報 第32号/アクアレターNo.5～6
碧南市教育委員会	碧南市史料第73集「三河での瓦づくり 伝承と歴史」
鳳来寺山自然科学博物館	館報49号
町田市立自由民権資料館	自由民権 33号/民権ボックス33 町田の近代と青年
三重県埋蔵文化財センター	寺田遺跡(第3次)発掘調査報告～度会郡玉城町佐田～/樋口遺跡・西村遺跡(第2次)0002発掘調査報告/四辻遺跡・日尾塚状地・発掘調査報告/市場庄遺跡(第2次)発掘調査報告/蓮華寺跡発掘調査報告/北野遺跡(第12次)・曾祢崎遺跡(第3・4次)・鱗尾城跡・平尾遺跡発掘調査報告/仲屋敷遺跡発掘調査報告/鉄砲塚遺跡発掘調査報告/大木/輪遺跡(第6次)発掘調査報告/浄土寺城跡発掘調査報告/上山遺跡発掘調査報告/小牧南遺跡(第2・3次)発掘調査報告/筆ヶ崎古墳群・筆ヶ崎西遺跡(第2・3・6次)発掘調査報告/小ブケ遺跡(第4次)・石名田遺跡・柳垣内遺跡(第2次)発掘調査報告/松坂城下町遺跡(第1～9次)発掘調査報告
三重県総合博物館	三重県総合博物館資料叢書No.6～7/みえんしず 28号～32号/「名所発見、再発見!浮世絵でめぐる三重の魅力」/「ボタニカルデザイン 植物のかたち、その観察」/研究紀要 No.6～7/年報2018/年報2019
㈱三菱総合研究所キャリア・イノベーション本部	「地域文化倶楽部(仮称)の創設に向けた調査研究」報告書(概要版)/地域での文化活動を推進するための「学校施設開放の方針」について/地域文化倶楽部(仮称)の創設に向けた調査研究 事例集一部活動の地域移行促進のためにー(2020年度版)
みもかも文化の森/美濃加茂市民ミュージアム	MUSEUM NEWSvol.101

寄贈者(敬称略)	書名
みよし市立歴史民俗資料館	平成26(2014)年度 市内埋蔵文化財発掘調査報告書／稲垣輝行氏寄贈石器資料集／埋蔵文化財発掘調査報告書(市道中大通線) 荒畑遺跡(31次調査)／三好ヶ丘駒場線事業地内 埋蔵文化財発掘調査報告書／市制施行10周年記念春季企画展「市指定文化財 黒笹九〇号 窯跡展」パンフレット／市制施行10周年記念夏季特別展「下り松瓦窯と西三河の古代瓦」展示図録
明治大学博物館	研究報告 第25号
本居宣長記念館	ふみの森探検隊 通信No.34～37／鈴屋学会報 第37号
八橋旧蹟保存会	三河国八橋
四日市市立博物館	読み解き 江戸ぐらし
四日市市教育委員会	久留信官衙遺跡整備ニュースvol.13
(公財)栗東市スポーツ協会 文化財調査課	栗東市文化財調査報告書第162冊『上鈎遺跡』／2018(平成30年)年度年報／「はっくつ2018」栗東市話題の発掘調査／栗東市文化財調査報告書第130冊『上鈎・下鈎東遺跡』／野尻遺跡発掘調査報告書 平成30年度2次調査／栗東市文化財調査報告書 第152冊 野尻遺跡発掘調査報告書 平成30年度3次調査／栗東市文化財調査報告書第154冊 林・多福寺遺跡発掘調査報告書 平成30年度1次調査／栗東市文化財調査報告書第155冊 林・多福寺遺跡発掘調査報告書 平成30年度2次調査／栗東市文化財調査報告書 小柿遺跡第157冊 令和元年度1次調査／栗東市埋蔵文化財調査報告書 第159冊 辻遺跡発掘調査報告書 令和元年度1次調査／栗東市文化財調査報告書 第170冊 野尻遺跡発掘調査報告書 令和2年度1次調査／栗東市文化財調査報告書 175冊 下鈎東遺跡発掘調査報告書 令和2年度1次調査／栗東市文化財調査報告書 第177冊 下鈎東遺跡 令和2年度3次調査
栗東歴史民俗博物館	栗東歴史民俗博物館紀要 第26号／栗東歴史民俗博物館だよりvol.41
立命館大学国際平和ミュージアム	立命館平和研究第21号／立命館大学国際平和ミュージアム資料研究報告 第4号／立命館大学国際平和ミュージアムだよりvol28-1～3
個人	上田千秋『俳諧宗匠 花の本聴秋』 岡田洋司『ある農村の振興の軌跡-「日本デンマーク」に生きた人びと』 ピーター・クレイン『イチョウ 奇跡の2億年史 ー生き残った最古の樹木の話』 コンスタンチン・ヴァボリス『日本人と参勤交代』 清水武・田中義人『名古屋鉄道車両史 上巻(創業から終戦まで)』 " 『名古屋鉄道車両史 下巻(戦後復興期から平成の終わりまで)』 愛知県郷土資料刊行会『愛知の文学碑』 名古屋博物館部門展「馬の塔と棒の手 ー祭りに生きる伝統」 名古屋博物館特別展「没後100年伊藤圭介と尾張本草学 ー名古屋で生まれた近代植物学の父」 安城市歴史博物館市制45周年記念特別展「日本デンマークの姿～大正・昭和の農村振興」 安城市歴史博物館企画展「江戸時代の測量術 ー伊能忠敬と地方の測量家たち」 三ツ松悟『レポート随想・第九巻 新・刈谷八景類録』 中元崇智『板垣退助 自由民権指導者の実像』

利用状況

貸出資料一覧

資料名
燕子花図屏風 複製
写真資料データ「東海道松並木(昭和45年)」「知立町役場」「知立団地」「ミスかきつばたコンテスト」「知立タワー」
浮世絵画像データ 葛飾北斎「八ッ橋図」歌川広重「五十三次名所図会 池鯉鮒」歌川広重・三代豊国「双筆五十三次 池鯉鮒」歌川国貞「風流六歌撰内 かほよ花」「八つはしの図」歌川国芳「東海道五十三対」
歌川国貞「風流六歌撰内 かほよ花」
無量壽寺所蔵資料画像データ「業平朝臣八橋図」「杜若姫伝由」「八橋売茶翁」「竹製笈」「木造 業平朝臣」 資料画像データ 歌川国貞「風流六歌撰 かほよ花」「八つはしの図」、「三河国八橋山無量寺紫燕山在原寺八景之図」、葛飾北斎「諸国名橋奇覧 三河の八つ橋の古図」「八ッ橋図」、上田秋成「よしやあしや」
写真資料データ「坂東蓑助と佐藤峻吉」
絵はがき写真資料データ「新知立駅」
寄託写真資料データ「板垣退助 肖像写真」「内藤魯一 肖像写真」
浮世絵画像データ 歌川広重「東海道五拾三次(保永堂版)池鯉鮒 首夏馬市」「東海道五拾三次(狂歌入)池鯉鮒」、勝川春扇「東海道 池鯉鮒」、二代広重・豊原国周「東海道一ト眼千両 池鯉鮒 三木十左エ門」 資料画像データ「東海道名所図会」池鯉鮒驛部分 写真資料データ「明治末年頃の馬市」
写真資料データ「知立まつり 境内に山車勢ぞろい」「知立まつり 山車文楽」
写真資料データ「明治末年頃の馬市」「馬市の跡」「うまやの跡」
写真資料データ「知立古城跡」
写真資料データ「知立まつり 山車からくり」「知立まつり 山車文楽」「知立まつり 境内に山車勢ぞろい」
絞り台とぎり
写真資料データ「坂東蓑助と佐藤峻吉」
写真資料データ「知立タワーのみえる風景」
写真資料データ「知立の山車文楽とからくり」
文楽人形「お駒」の首

月別来館者数

月	来館者数(人)	開館日数(日)	一日あたり来館者数(人)
4月	0	0	—
5月	0	0	—
6月	892	24	37.2
7月	886	23	38.5
8月	1,302	26	50.1
9月	1,023	24	42.6
10月	1,792	24	74.7
11月	1,762	16	110.1
12月	1,086	23	47.2
1月	1,030	24	42.9
2月	2,246	20	112.3
3月	1,791	23	77.9
合計	13,810	227	60.8

文化財保護事業概要

<文化財事業>

文化財管理委託業務

知立松並木保存委託、荒新切遺跡保存用地草刈を例年どおり実施した。
また、丸山古墳、牛田城跡、業平塚の管理委託業務を実施した。

歴史的建造物の調査

市内中町の老舗商店の解体に伴い、主屋（店舗）1棟及び蔵2棟について、記録保存を目的とする調査を下記のとおり委託により実施した。また、同家旧蔵資料について収集・調査をおこなった。

調査場所 知立市中町中地内
調査実施者 A.S.K 設計室（岡崎市簗川町字寺辺 1 1 5・8）
愛知工業大学工学部建築学科歴史意匠研究室
調査日時 令和2年8月22日（土）
調査内容 主屋：実測調査、写真撮影、平面・立面・断面図・配置図作成
中土蔵・奥土蔵：実測調査、写真撮影、平面・立面・断面図作成

歴史文化保存活用ワークショップ事業

歴史文化遺産を活かした個性的なまちづくりにむけて一層の推進をはかるため、歴史文化保存活用職員プロジェクトを設置した（令和元年度）。2年度は市民とともにワークショップにより検討を行い、実現可能な提案を報告書としてまとめた。実施にあたり地方創生推進交付金を活用した。

	開催日時・場所	内 容	参加者
第1回	令和2年10月25日 13:30～16:00 知立市図書館 視聴覚室	1 あいさつ（WSの趣旨など） 2 講義 1) 「池鯉鮒宿の歴史や文化について」 2) 「事例紹介～宿場町での保存活用の取り組み～」 3 意見交換（グループ別討議） 1) 自己紹介 2) 意見交換①「知立市の歴史文化の魅力」 3) 意見交換②「歴史文化の保存・活用のあり方」 4 発表 5 おわりに	市民12名 職員8名
第2回	令和2年12月6日 13:30～16:30 リリオコンサート ホール会議室	1 あいさつ 2 現地見学 1) 荒川邸 2) 恵比寿屋陶器店 3) 知立神社 茶室 4) 知立神社 養正館 3 グループ別討議 4 発表意見交換（グループ別討議） 5 専門家のコメント 6 おわりに	市民10名 職員8名



文化財案内板設置工事

知立市の歴史文化を身近に感じていただくために、西町児童遊園に市指定文化財に指定された絵図「東海道池鯉鮒宿並図」を活用した案内板を新規に設置した。実施にあたり地方創生推進交付金を活用した。



文化財防火訓練

第 67 回文化財防火デー消防訓練を下記のとおり実施した。

日時 令和 3 年 1 月 21 日 午前 10 時

場所 知立市歴史民俗資料館



文化財防火訓練

文化財事業補助金

下記の文化財修理事業に補助を行った。

市指定有形民俗文化財 知立山車文楽人形（本町）修理事業（新調）

下記の文化財保存伝承活動事業に補助を行った。

市指定無形民俗文化財 知立からくり保存会伝承活動事業
 知立山車文楽保存伝承活動事業
 神楽保存伝承活動事業
 知立山車連合保存会伝承活動事業
 義太夫後継者育成事業

条例・規則

知立市歴史民俗資料館条例

昭和 62 年 9 月 30 日

条例第 17 号

改正 平成 19 年 10 月 1 日条例第 20 号

(趣旨)

第 1 条 この条例は、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 244 条の 2 の規定に基づき、知立市歴史民俗資料館（以下「資料館」という。）の設置及び管理について、必要な事項を定めるものとする。

(設置及び名称)

第 2 条 郷土の考古、歴史、民俗等に関する資料の保存と活用を図り、地方文化の発展に寄与するため資料館を設置する。

2 資料館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 知立市歴史民俗資料館 位置 知立市南新地二丁目 3 番地 3

(管理)

第 3 条 資料館の管理は、知立市教育委員会（以下「委員会」という。）が行う。

(職員)

第 4 条 資料館に館長及び必要な職員を置く。

(入館料)

第 5 条 資料館の入館料は、無料とする。

(委任)

第 6 条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、委員会が別に定める。

(附則 省略)

知立市歴史民俗資料館管理規則

昭和 62 年 9 月 30 日
教育委員会規則第 4 号

改正 平成 4 年 3 月 25 日教委規則第 3 号 平成 6 年 3 月 24 日教委規則第 5 号
平成 10 年 3 月 24 日教委規則第 6 号 平成 11 年 8 月 25 日教委規則第 4 号
平成 23 年 6 月 24 日教委規則第 2 号 平成 24 年 5 月 24 日教委規則第 6 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、知立市歴史民俗資料館条例（昭和 62 年知立市条例第 17 号）第 6 条の規定に基づき、知立市歴史民俗資料館（以下「資料館」という。）の管理及び運営に関し、必要な事項を定める。

(事業)

第 2 条 資料館は、その目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 郷土の考古、歴史、民俗等に関する資料（以下「資料」という。）の収集保存及び展示に関すること。
- (2) 資料に関する調査研究に関すること。
- (3) 資料に関する講演会、講習会、研究会等の開催に関すること。
- (4) その他知立市教育委員会（以下「委員会」という。）が必要と認めた事業を行うこと。

(職員)

第 3 条 資料館に館長、館長補佐、係長、担当係長、専門員、学芸員及びその他の職員を置くことができる。

(職務)

第 4 条 館長は、上司の命を受けて資料館の管理及び運営の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

2 館長補佐は、上司が命ずる事務を処理し、館長を補佐する。

3 係長は、上司の命を受け、係に属する事務を処理し、所属職員（担当係長を含む。）を指揮監督する。

4 担当係長、専門員及びその他の職員は、上司の命を受け、あらかじめ指定された事務又は業務を処理する。

(開館時間)

第 5 条 資料館の開館時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。

2 前項の規定にかかわらず委員会が必要と認めたときは、これを変更することができる。

(休館日)

第 6 条 資料館の休館日は、次のとおりとする。ただし、委員会が必要と認めたときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

- (1) 毎週月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときを除く。）
- (2) 1 月 1 日から 1 月 3 日まで及び 12 月 29 日から 12 月 31 日まで
- (3) 館内整理日（毎月第 4 金曜日。ただし、その日が休日に当たるときは、その前日）
- (4) 特別整理期間（毎年 1 回委員会が定めた 10 日以内の期間）

(入館制限)

第7条 委員会は、次に該当する場合は、施設等の利用を許可しない。

- (1) 入館者に迷惑をかけ、又は資料及び資料館の施設、附属設備等を損傷するおそれがあると認めるとき。
- (2) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認めるとき。
- (3) 専ら営利を目的とする行為を行うとき。
- (4) その他管理上支障があると認めるとき。

(弁償の義務)

第8条 故意又は過失により資料館資料をき損した者は、相当の代価をもって弁償しなければならない。

(資料の利用)

第9条 学術調査、研究等のため閲覧、撮影、模写等で資料を直接利用しようとするときは、館長の許可を受けなければならない。

(資料の収集)

第10条 資料の収集は、購入、寄贈、寄託及び借用とする。

(資料の寄贈)

第11条 館長は、寄贈の申出があったときは、適当と認めるものについて資料寄贈申出書(様式第1)により受納することができる。

(資料の寄託)

第12条 一般の公開に供する目的をもって資料館資料を寄託しようとする者は、資料寄託申出書(様式第2)を提出し、館長の許可を受けなければならない。

2 寄託に要する費用は、寄託者の負担とする。ただし、資料館から寄託の申し込みをしたときは、この限りではない。

3 寄託された資料は、寄託者の請求又は資料館の都合によりこれを返還する。

(借用の手續)

第13条 資料館が資料を借用するときは、あらかじめ所有者又は管理者の承諾を得たうえ資料借用書(様式第3)を交付する。

(免責)

第14条 資料館は、寄託及び借用資料が天災その他避けがたい理由により生じた損失については、その責任を負わないものとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、この限りではない。

(委任)

第15条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、委員会が定める。

(附則及び様式 省略)

知立市文化芸術基本条例

平成 30 年 3 月 26 日条例第 19 号

改正 平成 31 年 3 月 20 日条例第 18 号

私たちのまち知立市は、いにしえからの豊かな歴史と文化を築き育む風土を大切に受け継いできました。

在原業平や松尾芭蕉が歌に詠み、尾形光琳が描いた燕子花図屏風で知られる八橋のかきつばた。歌川広重が描いた馬市の名残を残す東海道の松並木。明治神宮から御下賜された知立公園の花しょうぶ。そして、ユネスコ無形文化遺産に登録された知立祭りの山車文楽とからくり。これらは知立市の宝であり、先人たちが大切に守り育ててきた文化芸術活動のたまものです。

これら受け継がれてきた文化芸術と、新たに生まれる文化芸術が混ざり合い、私たちのまちは形作られています。

文化芸術を自由に創造し、享受することは、人々の生活に楽しみや潤い、精神的な豊かさや活力をもたらすとともに、人々をつなげ、連携させる力があります。この文化芸術の持つ力は、産業、観光、教育、福祉の発展、コミュニティづくり、多文化共生の促進など幅広い分野において重要な役割を担うものであり、住みよく活力あるまちづくりのためにはなくてはならないものです。

私たちは、文化芸術の価値を認識し、様々な文化芸術を受け継ぎ、発展させるとともに、新たな文化芸術の創造と普及を総合的かつ計画的に進めることにより、一人ひとりが文化芸術とともに生きる豊かな地域社会の形成を目指し、ここに条例を制定します。

(目的)

第 1 条 この条例は、文化芸術に関する施策に関し、その基本理念を定め、並びに市民、文化芸術団体、学校及び事業者（以下「市民等」という。）並びに市の役割を明らかにするとともに、文化芸術に関する施策の基本となる事項を定めることにより、文化芸術に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図り、もって心豊かな市民生活と活力ある地域社会の実現に寄与することを目的とする。

(定義)

第 2 条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 文化芸術 文化芸術基本法（平成13年法律第148号。以下「法」という。）第 8 条から第13条までに規定する振興その他の施策の対象となる文化芸術その他これらに類するものをいう。
- (2) 市民 次に掲げる者をいう。
 - ア 市内に住所を有する者
 - イ 市内の事業所等に勤務する個人
 - ウ 市内の学校に在学する個人
 - エ 市内において、文化芸術に関する創造的活動、文化芸術を支援する活動その他の文化芸術に関する活動（以下「文化芸術活動」という。）を行う個人
- (3) 文化芸術団体 市内において、文化芸術活動を行う法人その他の団体及びその連合体をいう。
- (4) 学校 市内の学校（学校教育法（昭和22年法律第26号）第 1 条に規定する学校その他学校教育に類する教育を行う教育施設をいう。）をいう。
- (5) 事業者 市内に事業所等を有する法人その他の団体及び個人をいう。
- (6) 多文化共生 国籍、民族等の異なる人々が、互いの文化の違いを認め合い、地域社会の構成員として共に生きていくことをいう。

(基本理念)

第3条 文化芸術に関する施策の推進に当たっては、市民等の自主性及び創造性が十分に尊重され、市民等による多様な文化芸術活動が理解され、及び促進されるよう配慮されなければならない。

2 文化芸術に関する施策の推進に当たっては、誰もが文化芸術を創造し、誰もが享受する、そのことが人の生まれながらの権利であることを踏まえ、全ての市民がその年齢、障害の有無、経済的な状況、国籍、民族等にかかわらず等しく、文化芸術を鑑賞し、これに参加し、又はこれを創造することができるような環境の整備が図られなければならない。

3 文化芸術に関する施策の推進に当たっては、歴史や風土の中で培われ、先人から引き継がれてきた文化芸術が保存され、及び記録され、並びに将来に継承されるよう配慮されなければならない。

4 文化芸術に関する施策の推進に当たっては、市の内外に広く文化芸術が発信されるとともに、文化芸術を通じて交流が促進されるよう配慮されなければならない。

5 文化芸術に関する施策の推進に当たっては、文化芸術に関する教育の重要性に鑑み、学校、文化芸術団体、家庭及び地域における活動の相互の連携が図られるよう配慮されなければならない。

6 文化芸術に関する施策の推進に当たっては、広く市民等の意見が反映されるよう十分配慮されなければならない。

7 文化芸術に関する施策の推進に当たっては、文化芸術により生み出される様々な価値を文化芸術の継承、発展及び創造に活用することが重要であることに鑑み、文化芸術の固有の意義と価値を尊重しつつ、観光、まちづくり、福祉、教育、産業、多文化共生その他の各関連分野における施策との有機的な連携が図られるよう配慮されなければならない。

(市の役割)

第4条 市は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、市の歴史、風土等地域の特性を踏まえて文化芸術に関する施策を総合的かつ計画的に推進するものとする。

2 市は、文化芸術に関する施策を推進するに当たり、必要に応じ、観光、まちづくり、福祉、教育、産業、多文化共生その他の施策と連携を図るものとする。

3 市は、文化芸術に関する施策を推進するとともに、遊びや憩いの機会が創出されるよう努めるものとする。

4 市は、文化芸術に関し、調査、研究、記録、保存及び発信に努めるものとする。

(市民の役割)

第5条 市民は、基本理念にのっとり、文化芸術の果たす役割と自らがその担い手であることを認識するとともに、主体的にその活力と創意を生かして、広く文化芸術の創造及び発展に努めるものとする。

(文化芸術団体の役割)

第6条 文化芸術団体は、基本理念にのっとり、自主的かつ創造的に文化芸術活動を推進するとともに、文化芸術活動に参加する市民との協働により、文化芸術活動の充実に資するよう努めるものとする。

(学校の役割)

第7条 学校は、基本理念にのっとり、幼児、児童、生徒等が文化芸術活動を体験し、及び文化芸術に関する作品に触れる機会の充実に努め、並びに文化芸術を担う人材の育成、地域の文化芸術活動の活性化等に努めることにより、文化芸術の振興に積極的な役割を果たすものとする。

(事業者の役割)

第8条 事業者は、基本理念にのっとり、地域社会を構成する一員として、その保有する資源を活用し、

地域の文化芸術活動の活性化等に努めることにより、文化芸術の振興に積極的な役割を果たすものとする。

(基本計画)

第9条 教育委員会は、法第7条の2第1項の規定に基づき、文化芸術に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための基本的な計画（以下「基本計画」という。）を定めるものとする。

(子どもの文化芸術活動への参加等の機会の確保)

第10条 市及び市民等は、次代を担う子どもの豊かな人間性を育むため、子どもが優れた文化芸術に触れ、及び創造的な文化芸術活動に参加する機会の確保に必要な取組を行うよう努めるものとする。

(高齢者、障害者等に対する文化芸術に関する施策の充実)

第11条 市及び市民等は、高齢者、障害者等が文化芸術に親しむとともに、自主的な文化芸術活動を行うことができるよう、必要な取組を行うよう努めるものとする。

(伝統的な文化芸術の保存等)

第12条 市及び市民等は、伝統的な文化芸術の保存及び継承並びに発展に努めるものとする。

(国際文化交流の推進等)

第13条 市及び市民等は、文化芸術活動を通じて、国際交流の推進に努めるものとする。

2 市及び市民等は、文化芸術活動を通じて、多文化共生の推進に努めるものとする。

(人材の育成)

第14条 市は、文化芸術に関する創造的活動を行う者、文化芸術活動を支援する者その他の文化芸術を担う者の育成に努めるものとする。

(文化芸術に関する環境の整備と連携の強化)

第15条 市は、文化芸術活動が活発に行われるような環境の整備を図るものとする。

2 市は、文化芸術に関し、市民等の連携の強化及び促進に資する施策の実施に努めるものとする。

(財政上の措置)

第16条 市は、文化芸術に関する施策を実施するため、必要な財政上の措置を講ずるよう努めるものとする。

(顕彰)

第17条 市は、文化芸術の振興に寄与した者の顕彰に努めるものとする。

(知立市文化芸術推進会議)

第18条 教育委員会の諮問に応じ、基本計画その他の文化芸術の推進に関する重要事項を調査審議させるため、法第37条の規定に基づき、知立市文化芸術推進会議（以下「推進会議」という。）を置く。

2 推進会議は、委員15人以内で組織する。

3 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 文化芸術団体を代表する者
- (3) 福祉又は学校教育の関係者
- (4) 市民
- (5) その他教育委員会が必要と認める者

4 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 5 委員は、再任を妨げない。
- 6 前各項に定めるもののほか、推進会議の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(委任)

第19条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この条例は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（平成31年3月20日条例第18号）

(施行期日)

- 1 この条例は、平成31年4月1日から施行する。
(知立市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)
- 2 知立市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例（昭和45年知立市条例第34号）の一部を次のように改正する。
別表中「福祉体育館運営審議会委員」を「福祉体育館運営審議会委員 文化芸術推進会議委員」に改める。

知立市歴史民俗資料館 令和2年度年報

令和3年7月1日 発行

編集 知立市歴史民俗資料館
愛知県知立市南新地二丁目3番地3
発行 知立市教育委員会